

社会資本総合整備計画															事後評価書					
計画の名称	市民が満足する安全・安心で歴史と緑にみちたまちづくり																			
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）														重点配分対象の該当					
交付対象	刈谷市																			
計画の目標	刈谷市緑の基本計画の「緑の将来像図」において、積極的な緑の保全・創出を図る「緑の拠点」や「歴史保全エリア」などとなっている公園等の整備を行い、市民が満足する安全・安心で歴史と緑にみちたまちづくりを目指す。 また、刈谷市では設置後20年以上経過した都市公園が約80%を占めており、老朽化した公園施設や安全基準を満たさない遊戯施設が顕著であることから、その改築を行い、公園利用者の安全・安心の確保と公園施設に係るトータルコストの低減を目指す。																			
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,360		A	1,360		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(R2末)	(R4末)
1	本市の歴史に関心がある小学生・中学生の割合を43.6%（H30当初）から45.5%（R4末）に増加			
	刈谷市の歴史に関心がある小学生・中学生の割合を算出する。 市内の小学5年生及び中学2年生を対象にアンケート調査を実施。「ある」「どちらかといえばある」と回答した小学生・中学生の割合。	44%	45%	46%
2	公園施設長寿命化計画に基づき、改築を行った遊戯施設の割合を43.9%（H30当初）から50.6%（R4末）に増加			
	公園施設長寿命化計画に基づく改築を行った遊戯施設の割合を算出する。 改築を行った遊戯施設数/改築が必要な遊戯施設数	44%	51%	51%
3	刈谷市は公園と緑地が充実していると思う市民の割合71.0%（H30当初）から71.6%（R4末）に増加			
	「刈谷市は公園と緑地が充実していると思う」市民の割合。 刈谷市内在住の20歳以上の市民から無作為に抽出した2,500人を対象にアンケート調査を実施する。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合。	71%	71%	72%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	－	－	都市公園事業（亀城公園）	体験学習施設整備	刈谷市	■					180		－	
	A12-002	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業（刈谷市）	洲原公園他17公園における複合遊具の改築等	刈谷市	■	■	■			90		策定済	
	A12-003	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	－	－	公園施設長寿命化計画策定調査（刈谷市）	刈谷市総合運動公園他26公園	刈谷市	■					10		－	
	A12-004	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	－	－	都市公園事業（岩ヶ池公園）	駐車場等整備約3.1ha	刈谷市				■	■	■	790		－
	A12-005	公園	一般	刈谷市	直接	刈谷市	－	－	都市公園事業（日高公園）	園路等整備約2.0ha	刈谷市						■	290	1.38	策定済
										小計							1,360			
											合計							1,360		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部で検証し、学識経験者に意見を求め評価した。	事業終了後
	公表の方法
	刈谷市ホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	○亀城公園の再整備、体験学習施設の整備が完了したことにより、小中学生が本市の歴史を学ぶ機会が増え、歴史に関心がある小中学生の割合が増加した。 ○公園施設長寿命化計画を活用し、計画的に老朽化した遊戯施設を更新することで、市民が満足できる公園利用者の安全・安心を確保することができた。 ○日高公園の園路等の整備、岩ヶ池公園の駐車場等の整備や老朽化した遊戯施設の更新するなどにより、本市の「緑の拠点」や「歴史保全エリア」が充実したことで、多くの市民の満足度が得られ、歴史と緑に満ちたまちづくりの推進を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	—

○特記事項（今後の方針等）

○本市の歴史を学び体験できる亀城公園は、本市のシンボルとなる公園として、周辺のまちづくりと一体となった取り組みにより、より整備効果の高いソフトとハードの両面の事業を推進していくことで、次世代を担う小中学生の歴史と文化を語りつなぐことが必要である。

○今後も、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に老朽化した公園施設の改築を推進することで、公園利用者の安全・安心の確保を優先し、公園事業のトータルコスト縮減を図り、市民の満足度を高めていくことを推進する。

○人口減少・少子高齢化の進展や新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、本来の公園緑地の価値や役割が見直され、地域の魅力向上や緑豊かな潤いのあるまちづくりに向けて「魅力あふれる公園づくり構想」を推進し、誰もが行きたくなる魅力あふれる公園の実現を目指す。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	本市の歴史に関心がある小学生・中学生の割合を増加させる。		
	最 終 目標値	46%	亀城公園の体験学習施設の整備により、本市の歴史に触れ、学ぶ機会が増えたことにより、歴史に関心がある小中学生の割合を増加させることができた。
	最 終 実績値	49%	
2	公園施設長寿命化計画に基づき、改築を行った遊戯施設の割合を増加させる。		
	最 終 目標値	51%	公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に公園の遊戯施設の更新をすることで、着実に目標を達成することができた。
	最 終 実績値	58%	
3	刈谷市は公園と緑地が充実していると思う市民の割合を増加させる。		
	最 終 目標値	72%	日高公園の園路等整備、岩ヶ池公園の駐車場等整備や公園の遊戯施設を更新したことにより、市民が公園緑地を安全・安心に利用できることになったことから、本市の公園と緑地が充実していると思う市民の割合が増加した。
	最 終 実績値	77%	